



平和のこと



日本生協連主催

「ピースアクション in オキナワ 第42回沖縄戦跡・基地めぐり」報告

2025年3月26日(水)
～28日(金) 2泊3日

参加者：よどがわ市民生協より理事・職員9人
※全体では40生協、250人が参加。過去最大の参加人数となりました。

1日目

沖縄の文化・伝統の象徴である首里城を見学しました。沖縄戦においては陸軍第32軍司令部があり、1945年5月25日から3日間、鉄の暴風という、艦砲射撃だけで11万発の総攻撃を受け焼失した城跡です。現在は2019年の火災の復興の最中でした。

その後、『那覇青少年舞台プログラムの観劇』では、若い世代から、熱い想いが伝わる平和の訴え、『玉木さんによる戦争体験』にて、戦争体験者から戦争の悲惨さを聞きました。

2日目

嘉数高台公園を視察しました。首里の軍司令部を守るために、その一帯に第一防衛戦線として陣地を構えた、沖縄戦でもっとも激しい戦闘となった場所です。

次に、糸数アブチラガマを訪問しました。戦場が南下するにつれ、陸軍の野戦病院となった場所です。軍医、看護師、ひめゆりの学徒隊が配属され、全長270mのガマ内は600人以上の負傷兵で埋め尽くされたと聞きました。



糸数アブチラガマ

その後、平和祈念公園・資料館・平和の礎に移動しました。恒久平和の実現を願って、資料館とともに建設された公園です。礎には、国籍や軍人、民間人を問わず沖縄戦で亡くなった人々の名が刻まれ、今も刻銘が続いています。最後に、魂魄の塔に行きました。この一帯にたくさんの死体が折り重なって、村長と住民が一緒になり、遺骨を集め、納骨所を作ったとのこと。住民や軍人など3万5千人あまりの遺骨が納められている塔に献花しました。



魂魄の塔 献花

3日目

辺野古新基地建設を視察しました。普天間飛行場の代替施設としての辺野古埋立てについては、県民の理解の得られないままです。

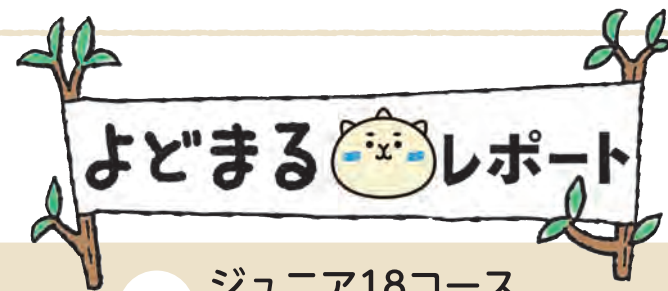
また、辺野古・大浦湾周辺の海域は、ジュゴンをはじめとする絶滅危惧種262種を含む、約5,800種以上の生物が確認され、貴重な自然環境があります。

軟弱地盤、建設期間の延長、増え続ける工事費など問題は山積です。

参加者の感想

今回の沖縄で戦争体験者の話を聞き、観光だけでは知り得なかった沖縄の現実を学びました。戦争の残虐さ、そして何より国の代表や軍人ではなく、何の罪もない一般市民が巻き込まれ、命を奪われてしまった事実、強い憤りを感じました。体験者の語る言葉がとても重く、記憶としてだけでなく『感情』として深く刻まれたものでした。しかし、そういう声を聞ける機会は、年々減ってきています。戦争の記憶が風化してしまうこと、そしてまた『戦争の準備』が語られ始めている現状に、強い危機感を抱いています。

沖縄の美しい海が私は大好きです。その海に基地を作り、戦争に備えるようなことはしてほしくないし、私自身もそれを止めたいと思っています。だからこそ、帰ってきてから祖母や従兄弟に、自分が沖縄で感じたこと、学んだことを伝えました。これからも、小さなことでもできることを積み重ねていきたい。『知ること』や『伝えること』、『平和を大切にする選択』を日々重ねていくことで、この美しい海と人々の暮らしを守っていきたく強く思います。



037

ジュニア18コース ご存知ですか？

母子手帳もらったら
CO・OP共済



0歳から入れる保険です！

CO・OP共済の中でも、ジュニアコースは特に人気が高く、多くの組合員に選ばれているコースです。加入できる年齢は0歳から満19歳までですが、一番多いご加入のタイミングは0歳のときで、全体の約33%※を占めており、出産してすぐこの保障を選ぶ方が多いことが特徴です。

※《たすけあい》ジュニアコース 加入時の年齢と加入者数の割合 (2023年3月21日～2024年3月20日)

組合員からは「妊娠中のお腹の赤ちゃんが加入できる制度ができた嬉しい」「妊娠中に加入し、子どもが生ま

れてすぐに保障がスタートする商品があれば助かる」といったご要望が多く寄せられてきました。そうした声を受けて誕生したのが、今回ご紹介する【《たすけあい》J1000円コースお誕生前申し込み】です。この制度はTVCMでも紹介されているので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、出産前に赤ちゃんの保障を申し込める新しい仕組みとなっています。

詳しい内容については、右の2次元コードから専用サイトをご覧ください。下記コールセンターまでお問い合わせください。 ※ご加入には一定の条件があります。

※CO・OP共済に加入するには、出資金をお支払いいただき、お近くの生協の組合員になることが必要です。生活協同組合(生協)は、お店や宅配などで暮らしに貢献しています。

契約引受団体/日本コープ共済生活協同組合連合会
(《たすけあい》はご加入の生協によっては、その生協の加盟する連合会との共同引受になります)

【CO・OP共済ニュース】

詳しくはこちら



〈ご連絡先〉

大阪よどがわ市民生協
コールセンター ☎0120-727-263
(月～金 9時～21時/土 9時～17時)

K-87847-2508



2025年3月

「『つながる』コンサートVol.4」を開催

よどがわ市民生協では、日本センチュリー交響楽団さんの練習場にて2022年より『つながる』コンサートを開催しています。毎回、午前の部は0歳児も参加できる親子で楽しめるコンサート、午後の部は中学生以上限定のコンサートです。Vol.3から機関紙よどがわでボランティアスタッフを募集し、当日は11人の組合員さんと家族が参加し、運営に協力していただきました。

コンサートに参加した組合員さんから
日本センチュリー交響楽団さんへ質問！



Q 楽団員さんの音楽経験などをおしえてほしいです！ 楽団員さんに聞いてみました♪

A

映画のドキュメンタリーを観た影響で、中学で吹奏楽部へ。「楽譜も読めない…ホルンって何？」という状態から、気付いたら藝大を卒業していました。国内のさまざまなオーケストラにて客演しながら研鑽を積みました。その後、映画音楽を演奏するアンサンブルを主催し、昨年日本センチュリーに入団しました。
(ホルン・鎌田さん)



A

小学生の頃より、嫌々ピアノを習っていました。でも、中学でトランペットを吹いて楽しかったので、高校ではオーボエに転向。でも難しくで…。友だちの持つエレキギターの方が楽しくて、ロックに没頭しました。音大を卒業しましたが、「これではダメだ…」とドイツへ留学しました。その後、オーケストラのオーディションを受け続けました。がうまくいかず…。苦難の末に、2012年にセンチュリー入団しました。そして現在、よどがわ市民生協の『つながるコンサート』に出演しています！
(オーボエ・川人さん)



ぜひ「つながる」コンサートへ！！

聴衆と演奏者がこの近い距離で触れ合うことはなかなかない機会だと思います。

次回は2026年3月15日(日)に開催決定！
機関紙よどがわ11月号にてお知らせします。ぜひご参加ください！

